

アナログと地デジで時間差が生じる理由（わけ）

我が家は一台が地デジで、他の一台は未だアナログなので、別の部屋で同じ番組を見ている時は4秒程の音声の時間差が耳障り。

また、夏なので地デジを見ているご近所の空いてる窓から、我が家のアナログTVとの同じ番組の音声の時間差も気になる。

先の記事（HP「雑学BN」の随想等関係（Ⅷ）、2010.08.10.「地デジ移行と高齢者世帯」：参照）で、アナログTVと地デジTVでは受信に約4秒の時間差が生じるが、どちらの時報が正確なのか？」とみなさんにお尋ねした。

数人から教えのメールをいただいたが、概略すると次のようなことらしい。

地デジは、アナログ画面より鮮明、繊細な画面であり、同時に文字データも見られたり、双方向のアンケートができることが特徴ということは、それだけデジタル信号量が多いということ。

地デジでは、数コマ分の多くの信号量が圧縮処理されて送信され、アンテナで受信しTVで画面にするには圧縮されたものを解凍することが必要となるとか。

この圧縮、解凍に必要な時間が、地デジとアナログの時間差を生じる理由（わけ）のよう。

例えば、A4版の景色の写真をA4版の入る封筒で郵送すると、受け取った人は開封して取り出すとA4版の写真を直ぐに目にすることができるのがアナログ。

A4版の写真を小さく折りたたんで（圧縮して）送ると小さい封筒で済む。受け取った人は開封して折りたためられたものを広げて（解凍して）始めてA4版の写真だと分かるのが地デジ。

地デジでは受信する機種（TV）によっては解凍するチップが異なることから、理屈的には地デジTV同士でも若干の時間差が生じるとか。

では、なぜ折りたたんで小さい封筒で送るかということ、利用する電波帯に小さいサイズの封筒をたくさん送信できるということのよう。

HP記事でのみなさんへのお尋ねの答えとしては、アナログの方が日本標準時により近いということになる。

地デジ普及だからか、最近のNHKの時報の時計の画面はなくなっているとか（これには、全く気づかなかった）。

来年7月までは我が家のアナログTVは健在のようなので、しばらくは時間差による立体音声を楽しむかぁ～(^o^)

ちょっとしたことでも、疑問をもって、知らないことを知るのは楽しい～。